

学校における性に関する教育

学校教育活動全体を通じた 系統的・横断的な指導とするために

青森県の「性に関する教育」

性に関連する科学的
知識を身に付ける
(狭義の「性教育」)



性行動にかかわる危険(リスク)を
認識し、回避する態度や望ましい
人間関係を築く能力を育成する

「性に関する教育」

発達の段階に応じたテーマで、学校教育活動全体を通じて系統的・横断的に行われることが重要です。

主に、心身の発育・発達や性感染症の予防など健康管理に関する内容については**体育科・保健体育科の「保健」**、人間関係の育成に必要な内容や家族・社会の一員として必要な内容については**道徳及び特別活動**で扱われます。

学校における性に関する教育の具体的な目標

- (1) 心身の発育・発達や性に関する内容について理解し、健康の大切さを認識し、危険(リスク)を回避するとともに、自らの健康を管理し、改善することのできる能力を育てる。
- (2) 生命や人格の尊重、男女平等の精神の下に、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築くことができる資質や能力を育てる。
- (3) 家庭や社会の一員としての在り方を理解し、性に関する諸問題に適切に対処するとともに、より良い家庭や社会づくりに向けて責任ある行動を実践することのできる資質や能力を育てる。

発達の段階に応じた
テーマと
重点指導項目

生命の大切さ

- 自己肯定感
- 男女の協力
- 家族の愛情

小学校

自他への慈しみ

- 心身の成長
- 異性とのかわり
- 情報の取捨選択

中学校

自己理解から自立へ

- 自他への理解の深化
- 適切な意志決定や行動選択
- 社会的規範意識

高等学校

人格の完成と
豊かな人間形成

「性」に関する教育の進め方

発達段階に応じた系統的な指導とするために!

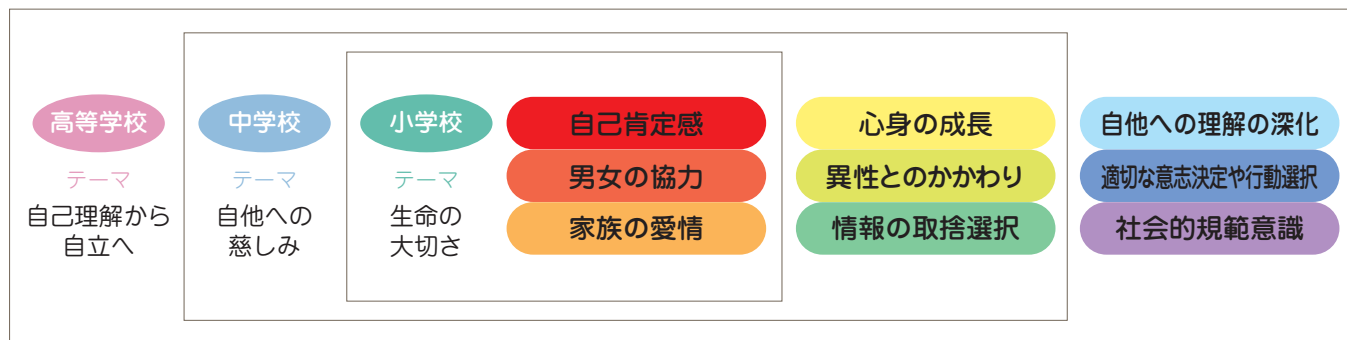
- 実践した横断的な指導の記録を残しましょう。
- アンケートを学習の事前・事後に活用し、児童生徒の実態及び発達の段階に応じたテーマの達成状況を把握しましょう。

Step1 実態をとらえよう!

- 発達の段階に応じたテーマの重点指導項目について事前アンケートを行い、子どもたちの実態を把握しよう。

※アンケート様式は、(健やか青森っ子Vを参照してください。)青森県教育委員会ホームページ(<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/seikyouiku.html>)からダウンロードできます。

「発達段階」に応じた重点指導項目



Step2 横断的な指導を計画しよう!

- 性に関する教育のねらいに迫るために、重点指導項目に係わる横断的な指導を展開しよう。
- ◆ 「保健学習」による科学的知識の一斉指導
- ◆ 「道徳」による人間関係の育成に必要な内容や家族・社会の一員として必要な内容の一斉指導
- ◆ 「特別活動」における、「学級活動・ホームルーム活動」による望ましい人間関係を育成する集団活動、「学校・学年行事」による講演会及び体験活動
- ◆ 「各教科」及び「総合的な学習の時間」による関連した指導
- ◆ 養護教諭及び学級担任等による個別指導

Step3 グループ討論の場を設定しよう!

- 実態及び発達の段階に応じた話題を選び、横断的な指導の中に、子どもたちが自分の考えについて伝え合う場面を設定しよう。(健やか青森っ子V、VI参照)

Step4 ねらいの達成状況を把握しよう!

- 横断的な指導後にもアンケートを行い、ねらいの達成状況を把握しよう。

小学校
5・6学年

重点指導項目

指導のポイント

自己肯定感

※ 内は児童生徒に話し合わせたい話題

「自己肯定感について考えさせ、不安や悩みを取りのぞき、自信をもって生活できるようにさせたい」

体育 「不安や悩みへの対処」

ねらい

心も体と同様に発達することを知り、心と体は相互に影響し合っていること、また、不安や悩みに対して、適切な対処の方法があることを理解させる。

流れ

- 1 思春期は、体も心も大きく変化する時期であり、様々な場面で不安や悩み事が多くなることを知ろう。
- 2 どんな不安や悩みがあるのか考えよう。
- 3 不安や悩みをかかえたとき、どうすればよいか考えよう。

不安や悩みへの対処方法は？

- 運動で気分転換をするといいね。
 - 何が原因で仲間外れにされたのかわからないときは、思い切って直接相手に言うといいよ。
 - 先生や家族、友達に相談するのがいいよ。
- 4 不安や悩みは誰もが経験することであり、自分に合った対処の方法を知ろう。

特別活動

「希望や目標をもって
生きる態度の形成」

ねらい

信頼し支え合って楽しく豊かな学級生活をつくるとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度を行動化させる。

流れ

- 1 今の学級の様子について話し合おう。
- 2 学校生活で困っていることは無いか考えよう。

学級のために、どんなことができるか。

- 大きな声であいさつをしよう。
 - 困っている友達を見つけたら相談相手になってあげよう。
- 3 自分が学級のために、何ができるか解決方法について自己決定をしよう。
 - 4 自己決定したことを基に、個人として努力し、目標の実現を目指そう。
 - 5 「学級や友達の役に立てた」という自信や「友達から必要とされている」という喜びをみんなで共感し合おう。

道徳

「自分の長所を
もっとのばそう」

ねらい

自分の特徴を知って悪いところを改め、よい所を積極的に伸ばそうとする態度を育てる。

流れ

- 1 友達の長所について発表し合おう。
- 2 関係資料を読み、登場人物の気持ちをとらえよう。
- 3 自分の特徴を見つめ直そう。

自分の直してほしい所、よい所を友達に聞こう。

- すぐ諦めてしまう所。
 - 自分の事ばかり考えて、友達の事を考えない所がある。
- 4 自分が気付いたよい所を積極的に伸ばしていこう。

アンケート・感想文などによる評価

小学校
1・2学年

重点指導項目

指導のポイント

家族の愛情

「生活を振り返り、家族に愛され支えられて成長してきたことに気づかせたい」

道徳 「家族愛」

生活 「自分の成長」

学級活動 「誕生日」

小学校
3・4学年

重点指導項目

指導のポイント

男女の協力

「男子のよいところ、女子のよいところ」について考えさせ、共に支え合って生活していることに気づかせたい」

道徳 「友達のことをより深く知ろう」

学級活動 「女らしさ、男らしさ、自分らしさ」

体育 「育ちゆく体とわたし」

中学校 3 学年

重点指導項目 指導のポイント

情報の取捨選択

※ 内は児童生徒に話し合わせたい話題

「情報社会の特性と実態について知り、自らとるべき行動をよく考え選択決定することの大切さに気づかせたい」

学校
行事

「ケータイ安全教室」

ねらい

携帯電話の普及に伴い、ネットコミュニケーションのトラブル、個人情報漏洩、性被害など、携帯電話に関連した問題が起きていることから、携帯電話をこれから持つ際の参考として、携帯電話を使用する上での安心・安全な使い方、基本的なマナーやルール、トラブルへの対処方法について啓発する。

流 れ

- 1 主な内容
 - ケータイでできること
 - 公共の場でのルール、マナーの説明
 - 違法サイトからのダウンロード
 - インターネット上の掲示板などでの誹謗中傷の注意、個人情報の取り扱いの注意
 - 迷惑メール事例および対処方法（「迷惑メール対策」「フィルタリングサービス」の説明など）
 - ケータイと正しく付き合うために（使いすぎに関する注意）
- 2 安全教室を終えて、感じたことや考えたことについて話し合おう。

迷惑メールの事例から、感じたこと・考えたことについて話し合おう。

- 近い将来、携帯電話を持つことを考えれば他人事ではない。
- 中学生は携帯電話を持つべきではない。
- 携帯電話を持つ際には、必ずフィルタリングサービスを設定する。
- 携帯電話利用上の約束を家族で考える。

学級
活動

「適応と成長及び健康安全」

ねらい

性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し適切な行動がとれるようにする。特に性に関する情報があふれる現代社会にあっては、自己の行動に責任をもって生きることの大切さや、人間尊重の精神に基づく男女相互の望ましい人間関係の在り方などと結び付けて考えさせる。

流 れ

- 1 携帯電話やインターネットに対するイメージについてのアンケート結果から良い点や問題点について話し合おう。
- 2 携帯電話やインターネットに絡んだ性犯罪や性被害の現状について知ろう。
- 3 性被害にかかわる事例「出会い系サイト事件」についてグループで話し合おう。

主人公の女子生徒は、どうしていれば被害に遭わないで済んだのだろう。

- 携帯電話の光と影についての正しい知識を身に付ける。
 - 興味本位でアクセスしない。
 - 不審なメールは開かない。
 - 絶対に書き込まない。
 - 相手に会わない。
 - 携帯電話を持たない。
- 4 携帯電話やインターネットを利用する際に、どのようなことに気をつければいいかをグループで話し合おう。
 - 5 情報ツールとして便利な携帯電話やインターネットと、どう関わっていけばいいかを考え自己決定しよう。

保健
体育

「感染症の予防」

ねらい

エイズ及び性感染症の増加傾向とその低年齢化が社会問題になっていることから、その疾病概念や感染経路について理解させる。また、予防方法を身に付ける必要があることを理解させる。（例えば、エイズの病原体はヒト免疫不全ウイルス（HIV）であり、その主な感染経路は性的接触であることから、感染を予防するには性的接触をしないこと、コンドームを使うことなどが有効であることにも触れるようにする。）

流 れ

- 1 HIVの感染からエイズの発病までの段階を知ろう。
- 2 エイズの発病や感染者・患者の現状について調べよう。
- 3 HIVの感染経路について知ろう。

エイズにかからないためには、どのようなことに気をつけたらよいのでしょうか。

- エイズに関する正しい知識を身に付ける。
 - 性的接触をしない。
 - 薬物の乱用はしない。
 - コンドームを使用する。
- 4 エイズの予防策について理解しよう。
- 誤った性情報や誘惑にまどわされない。
 - 感染の可能性がある場合には、すみやかに専門機関の検査や治療を受ける。
 - コンドームの使用が有効であることを理解する。

アンケート・感想文などによる評価

中学校 1 学年

重点指導項目 指導のポイント

心身の成長

「心身の成長について考えさせ、自他を大切にする態度や行動に気づかせたい」

学級
活動

「適応と成長及び健康安全」

保健
体育

「生殖にかかわる機能の成熟」

学校
行事

「定期健康診断（身体計測）」 （事前・事後指導をとおして）

中学校 2 学年

重点指導項目 指導のポイント

異性とのかかわり

「思春期の特徴を知り、互いの人格を認めあえるような人間関係を築こうとする意識を持たせたい」

学校
行事

「思春期教室」

道徳

「男女の理解と尊重」

学級
活動

「思春期の不安や悩みとその解決」

高等学校 1 学年

重点指導項目 指導のポイント

自他への理解の深化

※ 内は児童生徒に話し合わせたい話題

「自分の体を意識し、自分の体や健康管理に対して主体的に関わり、コントロールすることで疾病や異常を予防した生活を実践できるようになってほしい」

特別活動

「性に関する講演会」

ねらい

産婦人科医による講話から、性について正しい知識を習得し、自らの行動に対して正しい判断力を持ち、適切に選択できる能力を身につけさせる。

流れ

1 主な講演内容

- 男女の身体的・生理的・心理的な特徴、違い
- 妊娠の成り立ちと出産
- 人工妊娠中絶に伴う心理的・社会的・身体的影響
- STD並びにエイズ
- “愛とは”なにか・・・

2 自分を大切にし、相手を大切に する男女交際について考えよう。

妊娠、出産、子育てに係る費用や精神的、肉体的労力について考えてみよう！

- 高校生の妊娠・育児は学業との両立が可能かどうか。
- 自分の未来への夢は達成されるのかどうか。
- “できちゃった婚”の離婚率が高い現実。
- 幼児虐待が起こる背景と誘因。
- 高校生の妊娠はマイナス要因が多い？

家庭基礎

「食生活をつくる」

ねらい

人の一生を「生涯発達」の視点でとらえ、「食と家族の関係」「食は命の源」「自分の日常の食生活」を振り返り、考えさせる。

流れ

1 人間が心身ともに健康に生きて行くための「食」の大切さを考えよう。

食事アルバムを作ろう！

- 自分、家族の現実をみつめる。
 - 心が喜ぶ「料理」について考える。
 - 食と健康の関係、影響について考える。
- #### 2 国が勧める栄養バランス、食品摂取について知ろう。
- #### 3 6つの「コ」食について考えよう。
- 「弧食」一人で食べる。
 - 「個食」それぞれが好きなものを食べる。
 - 「固食」決まったものしか食べない。栄養の偏り。
 - 「粉食」パン類・麺類・小麦粉製品(軟食)ばかり食べる。
 - 「小食」食べる量が少ない。
 - 「濃食」調理済みや味付けの濃い物ばかり食べる。塩分過多と病気の誘発問題。

ホーム活動

「自分のからだを感じ取る」

ねらい

思春期から青年期への移行期において、心とからだが大きく変化する時である。そんな自分の心とからだに気を配り、自分の心とからだについて「わからない」ことを少なくし、かけがえのない自分を大切に作る心を育てる。

流れ

1 ライフスタイルを振り返ろう！

- 基本的生活習慣(睡眠・休養、栄養、運動、こころの安定)が健康の保持増進の源である。

2 自分の心とからだを見つめてみよう！

自分のからだの好きなところやエピソードをあげてみよう！
(気持ち、気づいたことなど)

- 家族に可愛いと誉められたところ。
 - 友達に素敵だと言われたこと。
 - 自分の体、健康は自分が守る。
 - 自分のからだを傷つけない。
 - 他者の心や体を傷つけない。
 - 自分の体の調子についてきちんと説明できる。
- #### 3 心と体・・・いつから「大人」になるのだろう。

アンケート・感想文などによる評価

高等学校 2 学年

重点指導項目 指導のポイント

適切な意志決定や行動選択

「男女の身体的、心理的な違いを理解させ、互いの人格を尊重し、思いやりのある態度がもてるようにする」

特別活動

「性に関する講演会」

保健体育

「家族計画と人工妊娠中絶」

ホーム活動

「高校生の男女交際とは？」

高等学校 1 学年

重点指導項目 指導のポイント

自己肯定感と自他への慈しみ

「自分を振り返り、他者との関係の中で生かされていることに気づき、自分も他者も大切に、よりよく生きようとする心を育てたい」

特別活動

「進路講演会」

家庭基礎

「自分らしい生き方と家族」

ホーム活動

「自分を発見するペーパーワーク」

特別支援学校
中学部

重点指導項目
指導のポイント

異性とのかわり

※ 内は児童生徒に話し合わせたい話題

「自分や相手を大切に思いながら行動を決めていくことが重要であることに気づかせたい」

理科 「生物の殖え方」

ねらい

生物の生殖と遺伝のしくみを理解し、生命の連続性を考えさせる。

流れ

- 1 生物は受精により新しい生命をつくりだすしくみを科学的な視点から理解しよう。
- 2 身近な生物の殖え方を観察し、生物のしくみとその殖え方を知ろう。

子どもが親に似ているのはどうしてだろうか。

- 遺伝する。
 - 細胞が分裂して、その一部が引き継がれる。
- 3 親から子へ伝えられるのは、形質そのものではなく、形質のもとになるもの、すなわち遺伝子であることがわかる。
 - 4 生物は親から生命を受け継ぎ、そして次は自分が継承していくことに気づき、自分の存在の意味について考えよう。

保健体育 「性的欲求と性行動」

ねらい

人間の性の欲求とその特徴や、性行動の起きるしくみなどについて知ること、性の欲求や性衝動に対する適切な対応をとることができるようにさせる。

流れ

- 1 男性と女性では性的欲求の表れ方に差があり、行動にちがいが出る傾向があることを認識しよう。
- 2 性的欲求と行動(性衝動)の起こるしくみについて理解しよう。

男女間のことで悩んでいることは何ですか。

- ○○さんのことが気になって勉強が手につかない。
 - テレビのキスシーンを見て変な気持ちになった。
 - 男の子と二人きりで話をしてただけでひやかされた。
 - 男の子とつきあいたいと親に話したら反対された。
- 3 中学生のこの時期の生活をどのように過ごしたらよいのか考えよう。

学級活動 「男女交際を考える」

ねらい

思春期の時期に異性の心の変化をみつめさせ、互いに相手を理解し合って自分を高めていく態度や行動が大切であることに気づかせ、自分らしさを生かし望ましい人間関係を築くことができるようにさせる。

流れ

- 1 思春期の特徴を理解しよう。
- 2 異性に興味や関心を持ち、異性の友人を求めたい気持ちをもつようになることは自然なことであり、自分の内なる変化を肯定的に受け止めよう。

異性のどんな点が好きですか。

- 心がやさしい。
 - 責任感がある。
 - ユーモアがある。
- 3 男女に関係なく人間的な魅力をもっている人が好まれることに気づき、中学生としてどのようなつきあい方が望ましいのか考えよう。

アンケート・感想文などによる評価

特別支援学校
高等部2学年

重点指導項目
指導のポイント

社会的規範意識

※ 内は児童生徒に話し合わせたい話題

「自他への理解の深化や家族の愛情の大切さを知り、高校生としてあるべき姿や望ましい人間関係のあり方について気づかせたい」

職業 「働く自分

～社会人としてのマナー、身だしなみとエチケット～

ねらい

現場実習をとおして、社会人としての基本的対人技能を知り、「他者に対する行為や関わり方」の理解を深めるとともに、規律ある生活習慣の確立、心身の健康や健全な生活態度を習得させる。

流れ

- 1 事前アンケートとして
 - ① 実習中に職場の人に気を使ったこと。(複数回答可)
 - ② 職場の人の目が気になったこと。
 - ③ 働いてみて1番感じたこと。
 - ④ 実習で困ったこと。
 - ⑤ 職場でやられて嫌だと思うこと。
- 2 職場で自分がやってしまいそうな「嫌われる行動」を考えよう。
- 3 職場で求められる好ましい(気持ちの良い)行動や身だしなみはどんなことだと思うか考えよう。
- 4 アンケートで答えたことを手がかりに、職場で好かれる人柄や具体的な関わり方について、話し合おう。

清潔な身なり、身だしなみ、明るい挨拶・返事や笑顔、誰に対しても平等に対応する、選ばない、言われたことは直ぐやる、責任を持って仕事をする、失敗をしても直ぐに謝る、報告する等

- 5 後期実習で、是非、実行したいことを3つ書こう。

保健体育 「二次性徴：生殖のしくみについて」

ねらい

1 年時の復習として、二次性徴に関する用語を確認する。その後、思春期には、生殖機能の発達とともに妊娠が可能になることを知り、性に関する正しい知識の重要性や適切な態度、行動の選択が必要になることを理解させる。

流れ

- 1 性ホルモンの働きによる生殖器の発育と射精・月経について用語の確認しよう。
- 2 知っておいたほうが良いと思うことは何か考えながら、「生命誕生」についてDVDを視聴しよう。
- 3 DVDを視聴して、どんなことを感じたか発表しよう。
- 4 話し合い活動しよう。

性に関する知識がないまましていると、どんな問題がおこるかな？

- 病気になる。妊娠できない。生命の危険(死ぬ)がある。障害がおこる。
- 5 女子の性周期と男子の射精のしくみについて理解しよう。
 - 6 受精と胎児の成長の様子を知ろう。(写真と胎児模型の提示)

道徳 「男女間のトラブル

～夏休みに起こりやすい問題～

ねらい

地域(地元)社会で自立した生活をするために必要な基本的知識・対人技能を知り、自己の行動に責任を持つことの大切さと、男女間の望ましい人間関係のあり方を考えさせる。また、具体的な回避行動の仕方を理解させる。

流れ

- 1 夏休みの「遊びの計画」(事前アンケート)から、起こりやすいトラブル事例をあげよう。
- 2 事例のようなトラブルにどうすれば巻き込まれないか、ワークシートに各自記入しよう。
- 3 地元の親しい友達や先輩に誘われたらどうするか？誘われて行った先でトラブルがないとは、言い切れないのでは？発表し合って友達の意見や考えを聞こう。
- 4 性の意識差があるので、少数グループに分かれ、具体例を挙げ、話し合いをしよう。

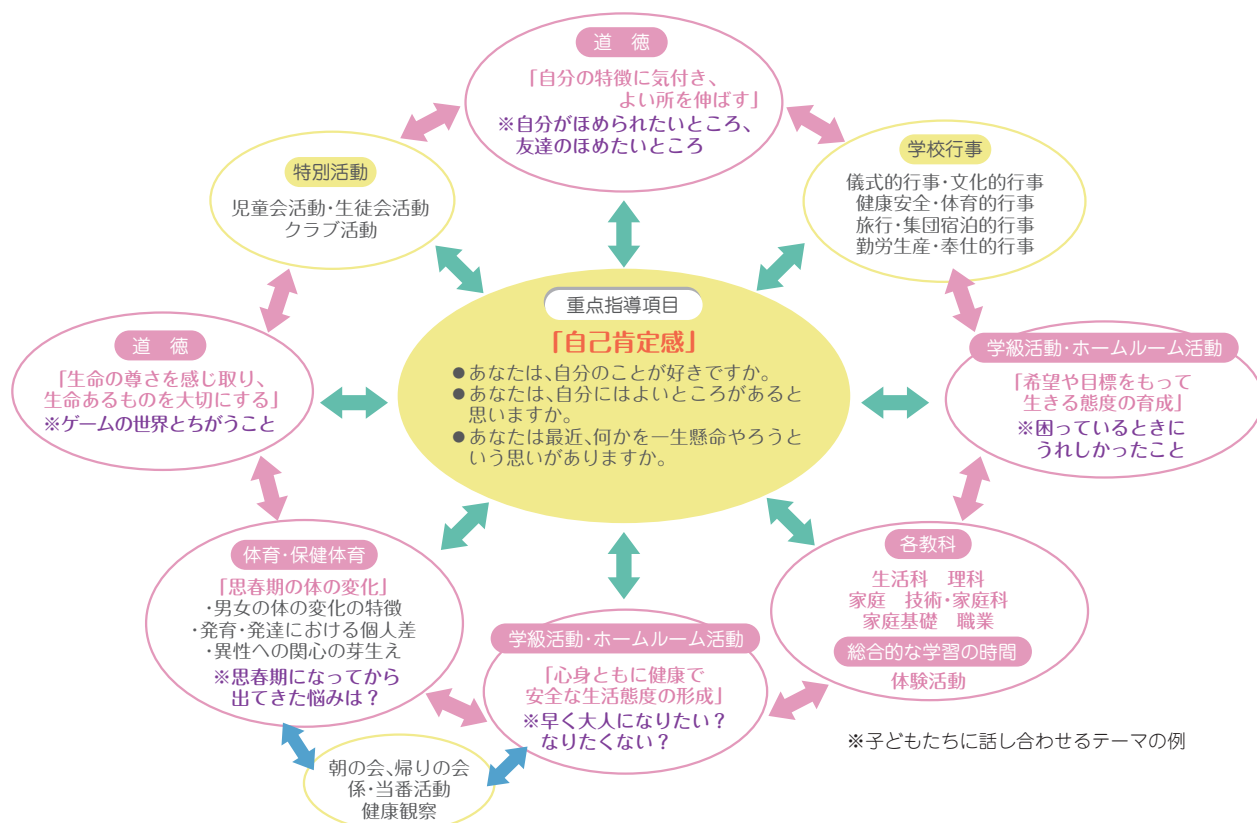
「A：バスや電車の中で、ジーっと相手を見る、空席があるのに異性の近くに座る」B：親しい人につきまとう」
「C：好きならいい？と迫る」D：知り合いなら、ついて行っても平気」等、どんな問題がおこるかな？

- 痴漢と間違われて訴えられる。思ったことをそのまますれば犯罪行為になることも…。女子だと合意と勘違いされる。暴力を振るわれる。性被害にあう。
- 5 被害者や問題に巻き込まれたらどうするか？具体的に書こう。

アンケート・感想文などによる評価

「横断的な指導の構造図(例)」

重点指導項目「自己肯定感」を高めるための横断的な指導場面例



推進手順と活用資料

性に関する教育の意義の確認

健やか青森っ子Ⅲ

「学校における性に関する
教育の考え方、進め方」

推進組織の明確化

健やか青森っ子Ⅲ

実態把握と問題点の整理

健やか青森っ子Ⅴ

「自分そして相手を大切にする
心をはぐくむために」

学校目標と性に関する教育の目標の 関連整理

健やか青森っ子Ⅲ・Ⅴ

全体計画、全体構想の作成

健やか青森っ子Ⅲ

指導内容の選択と指導計画の作成

健やか青森っ子Ⅳ

「健やかな心と体をはぐくむために」

指導資料の準備と校内研修の実施

実践

評価

【連携・協力機関連絡先】

■ 22年度学校医（産婦人科）の配置

氏名	勤務先電話番号	配置校
東 青 平 岡 友 良	017-762-5500	県立青森西高等学校
西 北 千 歳 和 哉	017-776-2893	県立五所川原高等学校
中 南 藤 盛 嘉 章	0172-32-0974	県立弘前中央高等学校
上 北 後 藤 高 志	0178-47-3636	県立三沢商業高等学校
下 北 小 川 克 弘	0175-22-2111	県立大湊高等学校
三 八 苫米地 怜	0178-47-5651	県立八戸東高等学校

■ 看護協会

施設名等	電話番号
青森県看護協会	017-723-4597

■ 助産師会

施設名等	電話番号
日本助産師会青森県支部	017-742-7500

■ 思春期研究会等

施設名等	電話番号
あおもり思春期研究会(県立保健大学内)	017-765-2000
弘前市小・中学校性教育研究会(弘前市教育研究所内)	0172-26-4802
八戸地区思春期問題連絡懇談会(八戸市医師会内)	0178-43-3954

■ 各地域保健所

施設名等	電話番号	施設名等	電話番号
東地方保健所	017-741-9666	弘前保健所	0172-38-2389
八戸保健所	0178-27-5700	五所川原保健所	0173-33-1090
上十三保健所	0176-23-8450	むつ保健所	0175-24-4433
青森市保健所	017-765-5295		

●その他、各市町村母子保健担当窓口へ

平成22年度青森県性に関する教育普及推進委員会

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| ◎中村由美子（青森県立保健大学教授） | 田中由美子（青森県立黒石商業高等学校教諭） |
| ○苫米地 怜（青森県医師会常任理事） | 久保 晶子（青森県立七戸高等学校養護教諭） |
| 千歳 和哉（青森県医師会会員） | 小鷹 勅子（青森県立田名部高等学校養護教諭） |
| 中村 健（青森市立浦町小学校教諭） | 粕谷 秀子（青森県立青森鹽学校教諭） |
| 蛸名ゆかり（六ヶ所村立千歳平小学校養護教諭） | 長谷 純子（青森県立青森第二高等養護学校教諭） |
| 中田 幸恵（八戸市立吹上小学校養護教諭） | 澤田 孝頼（青森県教育庁東青教育事務所指導主事） |
| 吉田 英人（五所川原市立第四中学校教頭） | 菅井 智紀（青森県教育庁中南教育事務所指導主事） |
| 坂田 志保（つがる市立森田中学校養護教諭） | 繁在家康文（青森県教育庁上北教育事務所指導主事） |
| 大坂美佐子（弘前市立裾野中学校養護教諭） | 俣田 登（青森県教育庁下北教育事務所指導主事） |
| 小笠原香奈江（佐井村立佐井中学校養護教諭） | 松井 康博（青森県教育庁三八教育事務所主任指導主事） |

（◎印は委員長、○印は副委員長 ※平成23年2月末現在）